

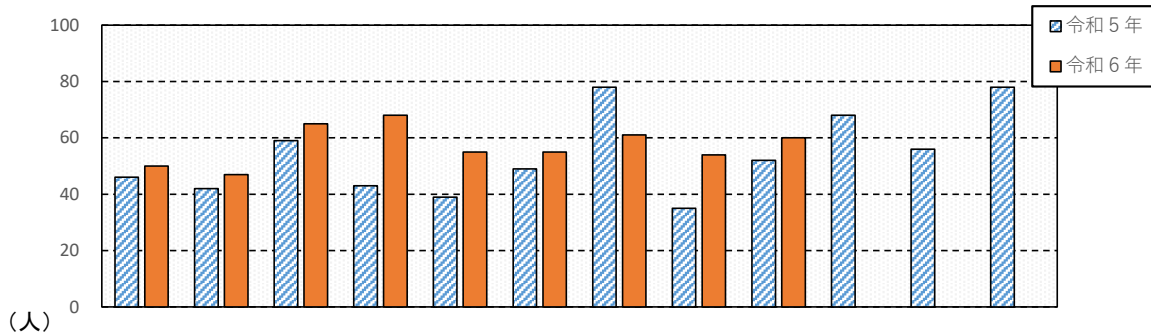
小牧市内 人身交通事故発生状況

(令和6年 9 月末確定数)

1 令和6年 9 月末現在の人身交通事故

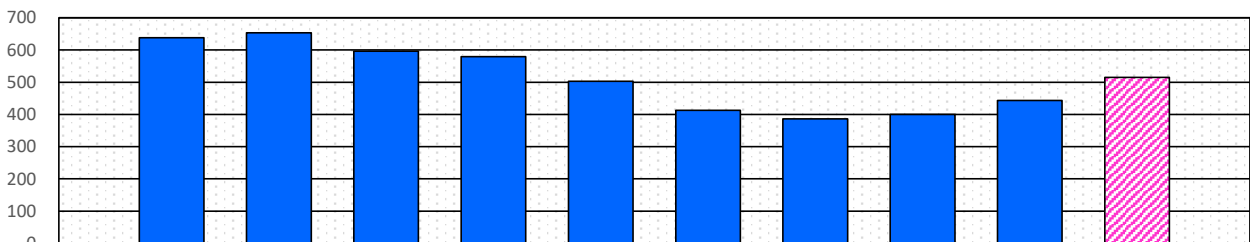
区分	愛知県内			小牧市内		
	発生数	増減数	増減率	発生数	増減数	増減率
人身事故件数	17,574	-75	-0.4	447	64	16.7
死者数	101	-5	-4.7	0	-3	-100.0
負傷者数	20,767	-167	-0.8	515	75	17.0

2 月別死傷者数



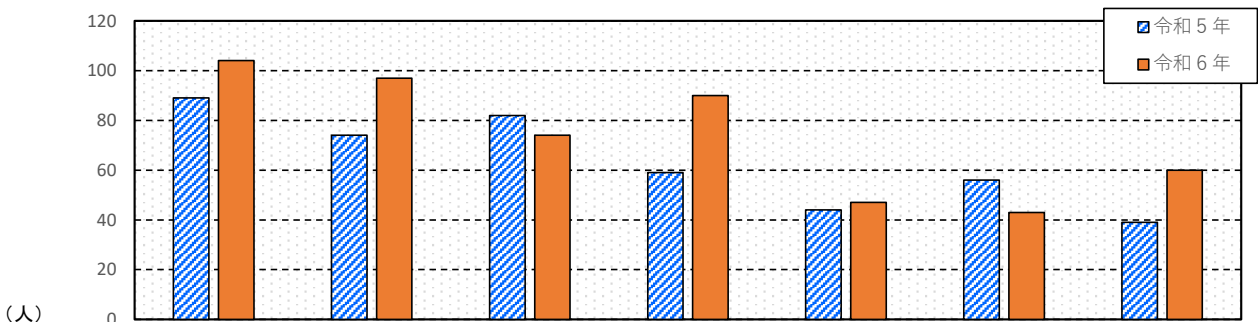
年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	46	42	59	43	39	49	78	35	52	68	56	78	645
令和6年	50	47	65	68	55	55	61	54	60				515
増減数	4	5	6	25	16	6	-17	19	8				72
増減率	8.7	11.9	10.2	58.1	41.0	12.2	-21.8	54.3	15.4				16.3

3 死傷者数の年別推移



9 月末	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
死傷者数	638	653	596	579	503	413	386	400	443	515

4 交番区別死傷者数

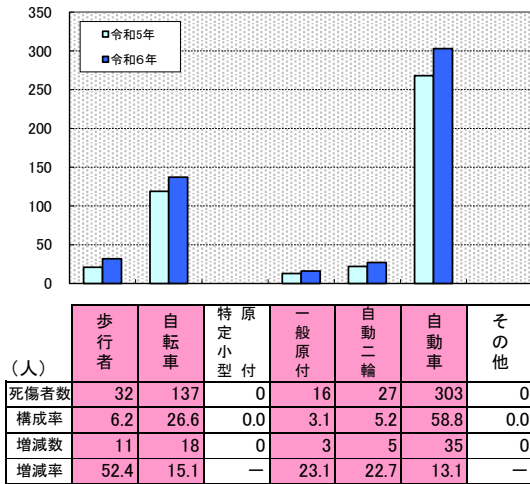


交番名	小牧交番	岩崎交番	三ツ渚交番	小針交番	東田中交番	桃花台交番	応時交番
令和5年	89	74	82	59	44	56	39
令和6年	104	97	74	90	47	43	60
昨年比	15	23	-8	31	3	-13	21

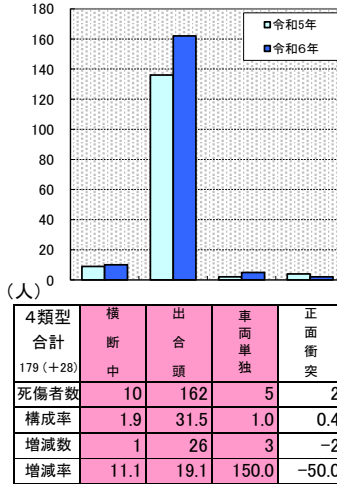
注: 各表は、高速道路等の発生を除く。
表3の令和元年の数値は、平成31年のものを含む。

5 人身事故の特徴

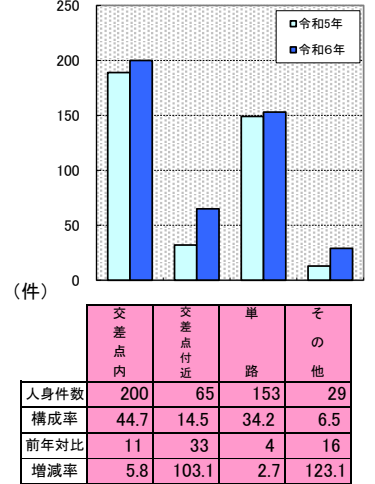
(1) 当事者別



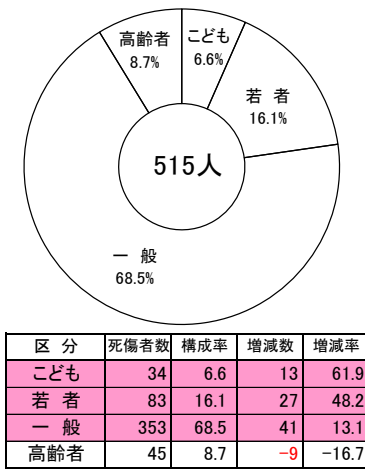
(2) 主な事故類型別



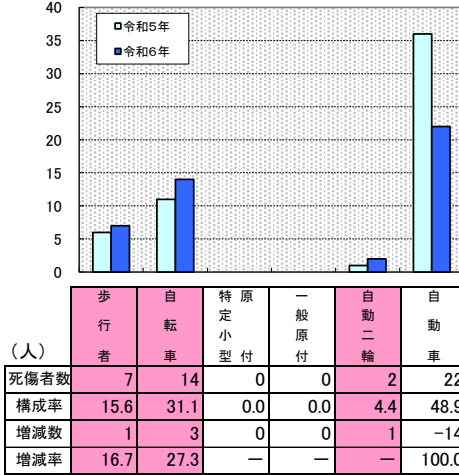
(3) 道路形状別



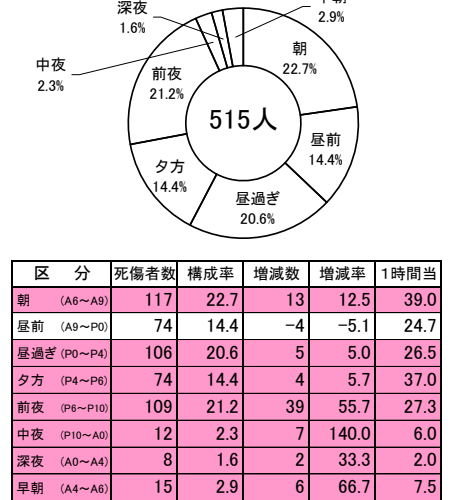
(4) 年齢層別



(4)-1 うち高齢者当事者別



(5) 時間帯別



(6) 法令違反別(第1原因)

区分	件数	構成率	増減数	増減率	
総数	447	100.0	64	16.7	
計	416	93.1	55	15.2	
一般原付以上	小計	38	8.5	28	280.0
	重点5態様				
	信号無視	14	3.1	7	100.0
	最高速度	0	0.0	0	-
	歩行者妨害等	6	1.3	4	200.0
	一時不停止	18	4.0	17	1700.0
	酒酔い	0	0.0	0	-
前方等	346	77.4	0	0.0	
その他	32	7.2	27	540.0	
特定小型付	計	0	0.0	0	-
	信号無視	0	0.0	0	-
	一時不停止	0	0.0	0	-
	その他	0	0.0	0	-
自転車	計	18	4.0	3	20.0
	信号無視	0	0.0	-1	-100.0
	一時不停止	4	0.9	2	100.0
	その他	14	3.1	2	16.7
歩行者等	計	1	0.2	-1	-50.0
	信号無視	1	0.2	1	-
	横断等	0	0.0	0	-
	その他	0	0.0	-2	-100.0
その他・不明	12	2.7	7	140.0	

自転車のスマホ・酒気帯び 罰則強化

「ダメ!!」ながらスマホ 「ダメ!!」酒気帯び運転

令和6年11月1日 道路交通法改正

自転車運転中の新たな罰則

警察庁・都道府県警察

令和6年11月1日 道路交通法の改正

自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました

運転中のながらスマホ 酒気帯び運転めよび助

スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながらの運転を行う、運転を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となりました。

自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や飲酒・自転車の提供に付して新たに罰則が整備されました。

違反者は、
6月以下の懲役又は10万円以下の罰金
交通の危険を生じさせた場合、
1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

違反者は、
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
自転車の提供者は、
3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
酒類の提供者等・同乗者は、
2年以下の懲役又は30万円以下の罰金

「運転中のながらスマホ」、「酒気帯び運転」は自転車運転者講習制度の対象になります。

自転車運転者講習制度

自転車の運転に際し、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反(危険行為)を反省して行った者は講習制度の対象となります。*講習参加費: 5万円以下

危険行為: 信号無視、指定通行一時不停止、運転者立ち入り、安全靴着用違反、通行区分違反 など

重大事故を防ぐため、交通ルールを遵守しましょう。